

事業名

防災×アート×まちづくり

実施団体

京極住民福祉連合会

万が一の備えに
役立ててもらおう

芸術の秋・年齢や性別問
わず参加できるきっかけ

住民同士の
交流を深めてもらおう

《主な活動先》

①**防災訓練**（10月20日）

②**京極文化祭**（11月3日）



➡ より多くの方にこの企画に触れてもらうため
地域の恒例行事の中でブースを借り活動を行った

何度もゼミ生同士や
地域との話し合いを行い
実施する内容を決定

ダンボール

【目的】 意外なものが役立つことを広め避難生活のストレスを軽減

【体験】 ダンボールベッドやパーテーションの作成方法を説明し実際に使用



活動の成果

地域の方に災害について考えるきっかけを与えられたと同時に地域の方の持つ災害の知識も知ることが出来た。多くの子ども達に来てもらい、楽しんでもらえた。ゼミ生から積極的に声をかけ、一緒に楽しみながら活動できた。

非常食

【目的】 非常食は美味しくないというイメージを刷新

【体験】 防災訓練では非常食（お菓子）のつかみ取り
文化祭では試食体験



持ち出し袋

【目的】 オリジナルの防災グッズで愛着と知識を与える

【体験】 クレヨンで袋に絵を描き防災グッズやチェックリストを入れ渡す

非常持出品チェックリスト

基本品目 一あるゆるぎない防災グッズ

食糧関係	日用品
<input type="checkbox"/> 非常食 <input type="checkbox"/> 飲料水	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> バネ玉 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> タオル
<input type="checkbox"/> ポリ袋 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> トイレシート/ペーパー <input type="checkbox"/> レンジャーシート <input type="checkbox"/> ブランケット <input type="checkbox"/> 簡易トイレ	
洗剤用品	その他
<input type="checkbox"/> 洗剤類 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ	<input type="checkbox"/> 筆記用具 <input type="checkbox"/> 防災持ち袋 <input type="checkbox"/> 現金

基本品目 22点

番号	品名	説明
1	非常食	缶詰・乾パン、長期保存可能なもの。
2	飲料水	500ml以上、水は「1人1日2リットル」の目安が必要とされるが、持ち出し時の重量の観点から、半日分を目安とする。
3	懐中電灯	2灯、電池は予備電池の備えを忘れず、電池で動く・単電池式もある、「1人1個がベスト」
4	ライター	非常用。
5	携帯ラジオ	防災時の情報収集に不可欠、予備電池も忘れず。
6	バネ玉	シーツを切る際、必須品。
7	軍手	必須品。
8	ロープ	7m、避難用、避難経路の代用となる、人の体重を支えられる強度のあるもの。
9	ガムテープ	災害現場で必要となる。
10	タオル	4枚。
11	ポリ袋	防水・防汚などで10枚程度、持ち込まれる、避難の代用品として必要となる。汎用性が高い。
12	ウェットティッシュ	2箱、水が足りないときに活用。
13	トイレシート/ペーパー	1セット、水に溶ける、トイレがない場合、必須品。
14	レンジャーシート	1人あたり1枚程度が必要。
15	ブランケット	備え付け品。
16	簡易トイレ	避難時に備えて、トイレがない場合に活用。
17	洗剤類	必要に応じて。
18	歯ブラシ	必要に応じて。
19	筆記用具	ペンや鉛筆。
20	防災持ち袋	必要に応じて。
21	現金	持ち出しの際に必ず持ち出すこと。持ち出しの際は1万円程度。
22	現金	1万円程度、5000円程度、1000円程度、(必ず予備電池の持ち出し)